

○山下俊郎氏著『一人子の心理と教育』

山下氏の『一人子の心理と教育』は、この問題に對する、我國における先驅的好著として、初版當時から、強く學界の注意をひいた。それが暫く絶版のため入手できなかつたのを、今回再刊されたことは、斯界のために喜ばしいことである。十年前にくらべて、此の種兒童研究の著しく發達普及した今日、一層大に迎えられるであらうことを疑わない。

教育者が知らなければならぬ子どもの理解については、たゞの發達段階と、よこの個性差の知識の必要なことは、更めていふまでもない。しかし、それだけではまだ一般的理論的心理知識であつて、もつと具體的實際的には、各の子の生活環境による特異性を考慮しなければならぬ。但し、各の子の生活環境は、極めて多様であつて、容易に類型をたてることはむづかしいが、それらの生活環境によつて影響される傾向を、教育理想から眺めて、警戒と是正にそなえることは、年齢と個性に即する教育原則以上に、最も實際的な教育的用意といえる。

その生活環境というにもいろいろの方面があるが、家族形態や家族關係の諸相が、それらの影響を、子どもに與えることは頗る多い。その中でも最も著しいことの二つが、一人子である。本當はこの問題を科學的に検討解説したもので、

内外學者の研究をも廣く引用しつゝ、平明懇切な記述を進めていられる著者の勞は、讀者を啓發するところが多い。一人子の親は、速に本書を読んで、その子の幸福と、幸福に似たる不幸と、それに對處する正しい教育法とを深思しなくてはならない。また、一人子をその受もちの組の中にもつ先生は、よきにつけあしきにつけ、その子が一人子であることの理解に基いて指導しなくてはならない。そうして、著書も書中に特筆していられる通りに、一人子に殊に意義の多い幼稚園生活の効果を、充分舉げてゆかなくてはならない。

しかも、この書が與えるところの教育的利益は、一人子の教育への實際指針の外に、この特殊問題の研究を通じて、各種の環境の教育心理的關心を進められることでもある。そして先生方の教育を、概括的な子ども教育から、この子あの子のための、ほんとうに周到な教育にまで深めずにおかないであらうことである。(東京都千代田區神田神保町二丁目巖松堂發行。定價百拾圓、送料八圓)